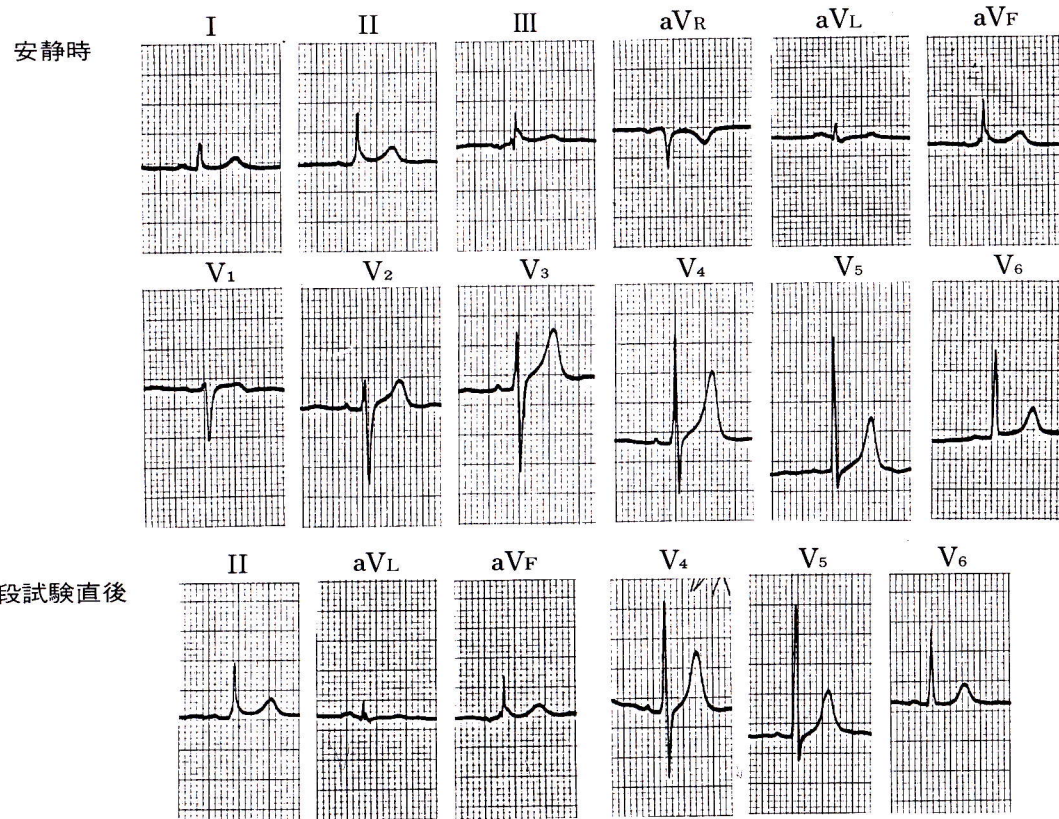


# 症例 69

●58歳 男

●ときどき特別な誘因なく前胸部に針で刺すような痛みを覚える。



1) 運動負荷心電図は陽性か。

## (安静時)正常

## (負荷後)負荷陰性

安静時心電図では、とくに異常所見を認めない。  
II, III, aVF, V<sub>1</sub>~V<sub>4</sub>に軽いST上昇を認めるが、  
病的なものではない。負荷直後の心電図では負

荷前と比較して有意なST, T波の変化を認め  
ず、負荷陰性である。

## MEMO

## 〈運動負荷試験の判定基準〉

負荷方法としてはMasterの2階段試験が一般的である。  
これは年齢、性別、体重により決められた回数(171  
~172ページ参照)だけ、高さ9インチの2階段を昇降  
するものである。

判定基準は諸家により少しずつ異なったものが提唱さ  
れているが、われわれは左記のMasterのdouble two  
step testの基準に準じている。

## Master's double two step testの基準

- 1) STの水平~下向型低下 0.5mm以上
- 2) STの junction 型低下 1 mm以上で、かつ  
 $QX/QT \geq 0.5$ ,  
 $QT \text{ ratio} \geq 1.07$
- 3) 型に関係なく 2 mm以上のST低下
- 4) ST上昇、一過性のQ波出現、一過性の左脚ブロック、  
 U波逆転、重症不整脈(一過性の心室頻拍、完全およ  
 び不完全房室ブロック、心房性頻拍、心房細動、多源  
 性、または3~4個の連発性心室性期外収縮の出現な  
 ど)
- 5) 少なくとも1.5mm以上の陽性T波が1.5mm以上の陰性  
 T波になる場合、陰性T波が1.5mm以上の陽性T波に  
 なる場合。